

ふりがな 氏名	おおaura しんいち 大浦 真一	職名	准教授・心理臨床センター長
取得学位	修士（文学）甲南大学大学院人文科学研究科		
学歴	甲南大学大学院人文科学研究科人間科学専攻心理臨床専修 博士後期課程単位取得満期退学		
受賞歴等	2023年 日本感情心理学会第31回大会優秀発表賞（第2著者として受賞） 2018年 関西心理学会第129回大会研究奨励賞（第2著者として受賞） 2017年 関西心理学会第128回大会研究奨励賞（第2著者として受賞） 2017年 European Society for Trauma and Dissociation 2017 Best poster award （第3著者として受賞） 2017年 日本臨床催眠学会第18回学術大会研究発表奨励賞（第2著者として受賞） 2015年 日本心理学会第79回大会ポスター発表 優秀賞（第3著者として受賞）		
所属学会	日本心理学会、日本心理臨床学会、日本心身医学会、日本統合医療学会、日本健康 心理学会、日本感情心理学会、日本パーソナリティ心理学会、日本トラウマティッ ク・ストレス学会、日本子ども虐待防止学会、日本臨床催眠学会、日本催眠医学心 理学会、日本EMDR学会、日本ヒューマン・ケア心理学会、関西心理学会		

教育活動

<p>（主な担当科目）</p> 2024年：（学部）心理演習、心理療法技法論、卒業研究 （大学院）臨床心理学特論、心理療法特論、課題研究Ⅰ・Ⅱ 2023年：（学部）心理演習、心理療法技法論、心理学検査実習 （大学院）臨床心理学特論、心理療法特論、課題研究Ⅰ・Ⅱ 2022年：（学部）心理演習、心理療法技法論、心理学検査実習 （大学院）臨床心理学特論、心理療法特論、課題研究Ⅰ・Ⅱ 2021年：（学部）心理演習、心理療法技法論、心理学検査実習 （大学院）臨床心理学実践実習、臨床心理実習Ⅰ、臨床心理実習Ⅱ 2020年：（学部）心理演習、心理療法技法論、心理学検査実習 （大学院）臨床心理学実践実習、臨床心理実習Ⅰ、臨床心理実習Ⅱ 2019年：（学部）心理学的支援法、心理検査実習、カウンセリング演習 （大学院）臨床心理実習Ⅰ、臨床心理実習Ⅱ <p>（その他）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019年9月～ 高等学校において6回の心理学に関する模擬講義を担当 ・2020年4月～ 大学院生の実習のスーパービジョンを担当 ・2022年4月～ 大学院生の修士論文指導を担当

研究活動

<p>（著書等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〈ふれる〉で拓くケア タッピングタッチ 北大路書房 共著 2022/10 ・公認心理師試験直前対策 2019年版 秀和システム 共著 2019/6
--



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY

- ・公認心理師試験対策標準テキスト '19～'20年版 秀和システム 共著 2019/2
- ・臨床心理士等心理系大学院院試&資格試験のための心理学標準テキスト '19～'20年版 共著 2019/2
- ・臨床心理士等心理系大学院院試&資格試験のための心理学標準テキスト '17～'18年版 秀和システム 共著 2017/3

(論文等)

- ・タッピングタッチが援助に対する効力感や態度及び気分に与える効果に関する予備的検討—模擬カウンセリングとの比較— 東海学院大学研究年報. 9, p. 27-p. 34 著者：大浦真一 2024/03
- ・Maladaptive fantasy predicts negatively distorted self and other mental representation: A consideration of child abuse from psycho/neuro/biological perspectives Environment and Social Psychology 著者：Shiota, S., Oura, S., & Matsumoto, M. 2024/03
- ・催眠療法家に対する顕在的・潜在的信頼性 —催眠術師や心理療法家との比較から— 人間と環境. 20, p. 55-p. 66 著者：中谷智美, 福井義一, 今井田貴裕, 堀孝司, 磯和壮太郎, 大浦真一 2024/03
- ・Personality Traits Characterizing a New Type of Depression Lead to Stress Generation in Japanese University Students Journal of Psychopathology and Behavioral Assessment 著者：Rika Fujiwara, Akira Hasegawa, Shin-ichi Oura, & Yuko Matsuda 2023/12
- ・褒められた頻度と満足度がグリットに及ぼす影響—人物と内容に注目して— 東海学院大学紀要. 17, p. 23-p. 32 著者：柘植一輝・大浦真一 2023/11
- ・未成年飲酒に対する容認態度に関連する要因 東海学院大学紀要. 16, p. 67-p. 79 著者：中村有翔・大浦真一 2022/11
- ・Preliminary validation of the self-report measure assessing experiences of negative independent and dependent event frequency in Japanese university students Journal of Rational-Emotive & Cognitive-Behavior Therapy 著者：Hasegawa, A., Oura, S., Yamamoto, T., Kunisato, Y., & Fukui, Y. 2022/7
- ・他者からの評価が気になる成人女性の心理面接—自分の気持ちに従った意思決定を支える介入に焦点を当てて— 東海心理臨床研究, 17, p. 22-p. 32 著者：土山万里・大浦真一 2022/3
- ・催眠状態期待の修正を意図した心理教育による意識的・非意識的催眠態度の変化—大学生を対象とした予備的研究— 甲南大学紀要 文学編, 172, p. 151-p. 171 著者：著者：中谷智美・福井義一・大浦真一・今井田貴裕 2022/3
- ・Causes and consequences of stress generation: Longitudinal associations of negative events, aggressive behaviors, rumination, and depressive symptoms Current psychology, p. 1-p. 10 著者：Hasegawa, A., Oura, S. I., Yamamoto, T., Kunisato, Y., Matsuda, Y., & Adachi, M 2022/2
- ・タッピングタッチは一人でやっても効果があるか？—セルフタッピングの対人関係上の効果— ヒューマン・ケア研究, 22(1), p. 1-p. 11 著者：福井義一・大浦真一 2021/11
- ・母子関係に肯定的変化が生じた母親の心理面接 —リソースに焦点を当てた事例— 東海心理臨床研究, 16, p. 12-p. 22 著者：清田大貴・大浦真一 2021/4



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY

- ・催眠状態に対する期待を測定する尺度の妥当性—因子的妥当性と収束的・弁別的妥当性の検討— 甲南大學紀要 文学編, 171, p. 253-p. 268 著者：著者：中谷智美・福井義一・大浦真一・今井田貴裕 2021/3
- ・被虐待経験が対人ライフイベントに及ぼす影響—愛着スタイルの媒介効果の検討— 子どもの虐待とネグレクト, 22 (1), p. 88-p. 94 著者：松尾和弥・大浦真一・福井義一 2020/4
- ・被虐待経験は本当に共感性を低下させるのか？—愛着の内的作業モデルを媒介変数として— 健康心理学研究, 32, p. 127-p. 134 著者：大浦真一・松尾和弥・福井義一 2020/3
- ・紙筆版催眠シングル・ターゲット潜在連合テストの妥当性 臨床催眠学研究, 20, p. 20-29 著者：大浦真一・福井義一 2019/3
- ・社会的コンピテンスの認知的側面と情動的側面が社会的スキルに及ぼす影響—表情の情動認知課題と自記式尺度を用いて— 人間科学研究所紀要, 20, p. 59-p. 71 著者：福井義一・松尾和弥・大浦真一 2019/3
- ・紙筆版催眠シングル・ターゲット潜在連合テストの開発—催眠への意識的・非意識的態度, 催眠イメージの関連— 臨床催眠学, 19, p. 40-p. 50 著者：大浦真一・松尾和弥・福井義一 2018/3
- ・愛着の顕在・潜在的内的作業モデルが対人スキルと社会適応に及ぼす影響—潜在連合テストを用いた検討— 甲南大學紀要文学編, 168, p. 135-p. 154 著者：大浦真一・福井義一 2018/3
- ・被虐待経験と不安定愛着が情動調整不全を介して心身の不健康や不適応に及ぼす影響—青年期を対象とした大規模調査 (CAASK2) の概要— 甲南大學紀要文学編, 167, p. 71-p. 94 著者：福井義一・松尾和弥・大浦真一 2017/3
- ・催眠に対する意識的 (顕在的) 態度と非意識的 (潜在的) 態度の間の乖離—催眠シングル・ターゲット潜在連合テストの開発とその信頼性・妥当性の検討— 臨床催眠学, 17, p. 16-p. 29 著者：福井義一・大浦真一 2016/3

(研究発表等)

国際学会発表 (筆頭発表)

- ・Should We Need to Improve both Conscious and Non-Conscious Attitudes toward Hypnosis?: Interaction between Conscious and Non-Conscious Attitudes toward Hypnosis on Hypnotizability 16th EUROPEAN SOCIETY OF HYPNOSIS CONGRESS 2023/10
- ・Effect of an online Tapping Touch self-care program on fear of COVID-19 Part 3 : Using the score of subjective adjustment to the group as an independent variable 2022 Taiwan Psychology Association annual conference Taipei, Taiwan(online) 2022/10
- ・Effect of an online Tapping Touch self-care program on fear of COVID-19 Part 1: Replicability of the effect of the program The 19th Congress of the Asian College of Psychosomatic medicine Irkutsk, Russia(online) 2022/8
- ・Effects of Tapping Touch on Changes in Oxytocin Concentration in Saliva Part 2: The difference depending on attachment style 25th World congress of the international college of psychosomatic medicine Florence, Italy 2019/9



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY

- Relationships between conscious and nonconscious attitudes toward hypnosis and images regarding hypnotic states: using a paper and pencil version of hypnosis Single Target Implicit Association Test XXI World congress of medical and clinical hypnosis Montreal, Canada 2018/8

その他、25本の発表（筆頭は6本）（2016～）を行った。

国内学会発表（筆頭発表）

- タッピングタッチはケアギビングや援助効力感を改善するか？ 日本心理学会第87回大会 2023/9
- オンラインによるタッピングタッチのセルフケア・プログラムの効果9—不眠の各側面に対する改善効果とその持続性の検討— 第26回日本統合医療学会学術大会（オンライン） 2022/12
- オンラインによるタッピングタッチのセルフケア・プログラムの効果5—講座開始前の値を要因にした再検討— 第63回日本心身医学会総会ならびに学術講演会：幕張メッセ 2022/6
- 認知的・構造的ソーシャル・キャピタル尺度の試作その2—構成概念妥当性の検討— 第65回日本心身医学会近畿地方会（オンライン） 2022/2
- 認知的・構造的ソーシャル・キャピタル尺度の試作その1—その信頼性の検討— 第25回統合医療学会（オンライン） 2021/12
- タッピングタッチの気分改善効果—ピアカウンセリングとの比較— 日本心理学会第85回大会：明星大学（オンライン） 2021/9
- タッピングタッチが援助に対する効力感や態度に及ぼす効果—模擬カウンセリングとの比較— 日本心理臨床学会第40回大会：お茶の水大学（オンライン） 2021/9
- 眼球運動の代わりに両側性の光刺激を用いた一回限りのEMDRセッションの効果 その5—解離傾向の改善効果— 第20回トラウマティック・ストレス学会（オンライン） 2021/7
- オンラインによるタッピングタッチのセルフケア・プログラムの効果3—セルフケアの実施回数との関係— 第62回日本心身医学会総会ならびに学術講演会：かがわ国際会議場（オンライン） 2021/7
- 愛着スタイルによるタッピングタッチの対人関係効果の違い—各愛着スタイルの典型例に着目して— 日本子ども虐待防止学会第26回学術大会・いしかわ金沢大会（オンライン） 2020/11
- タッピングタッチの効果は実施中のイメージ想起の有無に左右されるのか？ 日本心理学会第83回大会（オンライン） 2020/9
- なぜタッピングタッチはセルフ・コンパッションを高めるのか？—被受容感・被拒絶感との関連— 日本感情心理学会第28回大会（オンライン） 2020/6
- 紙筆版催眠シングル・ターゲット潜在連合テストの収束的妥当性—PC版ST-IATとの相関— 日本臨床催眠学会第20回学術大会：明星大学 2019/11
- タッピングタッチが唾液中オキシトシンの変化に及ぼす効果 その5—信頼感との関係— 日本健康心理学会第32回大会：帝京科学大学 2019/9

その他、154本の国内学会発表（筆頭は53本）（2012～）、国内外の学会のシンポジウムにおいて7本の話題提供を行った。



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY

社 会 活 動

- 2023年 ぎふ国際高等学校 ぎふ国際高等学校保護者会講演会（生徒の自己肯定感を高めるための家庭や親子関係の在り方）
- 2023年 ぎふ国際高等学校 ぎふ国際高等学校教員研修会（教育相談における留意点と工夫）
- 2023年 大阪経済大学公開講座：心と体の健康と防災セミナー（心の整え方ー身体を使ったセルフケアの紹介）
- 2022年 大阪経済大学公開講座：心と体の健康と防災セミナー（心の整え方ー身体を使ったセルフケアの紹介）
- 2021年 大阪経済大学公開講座：心と体の健康と防災セミナー（「つながり」から健康長寿を考える）
- 2020年 東海学院大学・東海学院大学短期大学部公開講座 2020（「つながり」から健康長寿を考える～大学は知の宝庫～）
- 2018年2月～2019年2月 関西心理学会第130回大会準備委員会 大会事務局長
- 2014年～ 30回のメンタルヘルス関連の研修講師を担当



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY